

AWSCJ ビジョン2025～2035 (概要版)

地域社会の持続を支える
水インフラマネジメントの実践

1. AWSCJ ビジョン2025-2035

～地域社会の持続を支える水インフラマネジメントの実践～

これまでの10年、私たちは、水コンサルタントの目指す姿として、上下水道の調査・計画・設計サービスに加え、事業体の補完者としてPPPによる「多様な官民協働」を提案し、その中心的役割を果たすべく挑戦的に取り組み、水コンサルタントの新たな役割を開拓してきました。

今後、「ウォーターPPP」の導入、事業広域化や他事業との連携、及び流域治水等と連動した地域の水インフラマネジメントなど、果たすべき役割が一層増大することは明らかです。そのためには多様な人材確保と技術力向上とともに、会員企業の強みを生かした水コンサルタント間の連携と、その先の異業種連携が必須であると考えます。

そこで、今回のビジョンでは、これまでの「上下水道マネジメントの挑戦」から「実践のステージ」と捉え、地域社会の持続を支える担い手として、「水インフラマネジメント」に寄与するものと宣言します。

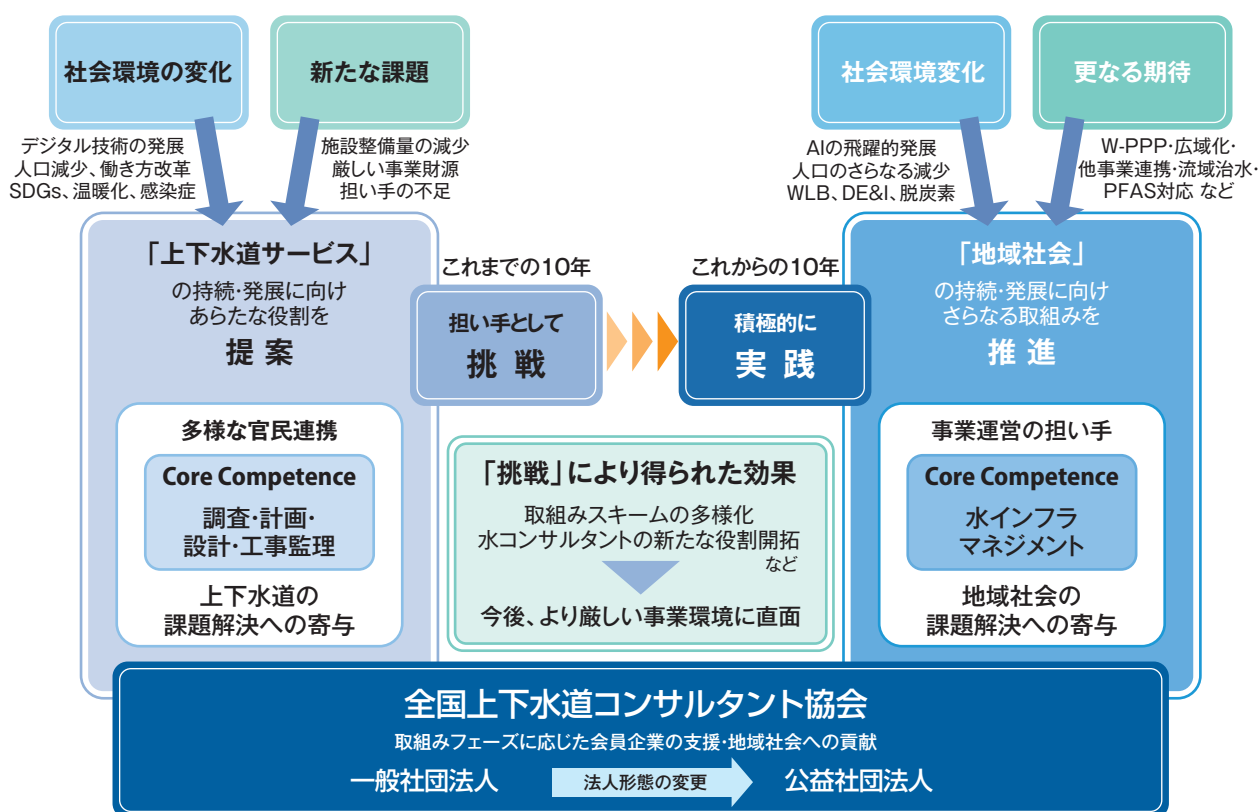


図 - 1 ビジョンのコンセプト

この水インフラマネジメントの実践に向け、水コンサルタントの使命として、次の3つを進める必要があります。

1. 技術の継承
2. 多様な官民連携の実践
3. 技術開発の推進

水コン協は、水コンサルタントの3つの使命を支援するために、次の5つの主要な活動を通じて、地域社会の持続と発展に貢献していきます。

1. コンサルタント業界発展に向けた要望・提案活動
2. 人材確保と経営基盤強化支援
3. 災害支援
4. 技術力・品質・倫理向上支援
5. 会員企業の連携強化・異業種連携支援



図 - 2 水インフラマネジメントの全体イメージ

2. 社会、水コンサルタント業界の変化と協会のあゆみ

(1) 社会環境の変化

近年の様々な社会環境の変化は、上下水道事業、それを支える私たち水コンサルタントにも大きな影響を与えてきました。

デジタル技術の進化は、SNSやオンラインメディアの急速な発展等、多様な情報の収集・発信を可能にし、働き方改革をもたらしました。またAIや自動化技術の進歩によって、業務の効率化・高度化が進んでいます。さらにSDGsの取組みやDE&Iの重視など、価値観の多様化が進んできました。

一方、世界的な感染症の蔓延により行動が制限され世界経済に大きな影響を及ぼしました。さらに温暖化による気候変動の顕在化によって災害が頻発、激甚化し、生物多様性が失われる事態を招いています。そして日本では少子高齢化による担い手不足が急速に進み、社会インフラの維持・更新にも大きな影響を与えています。

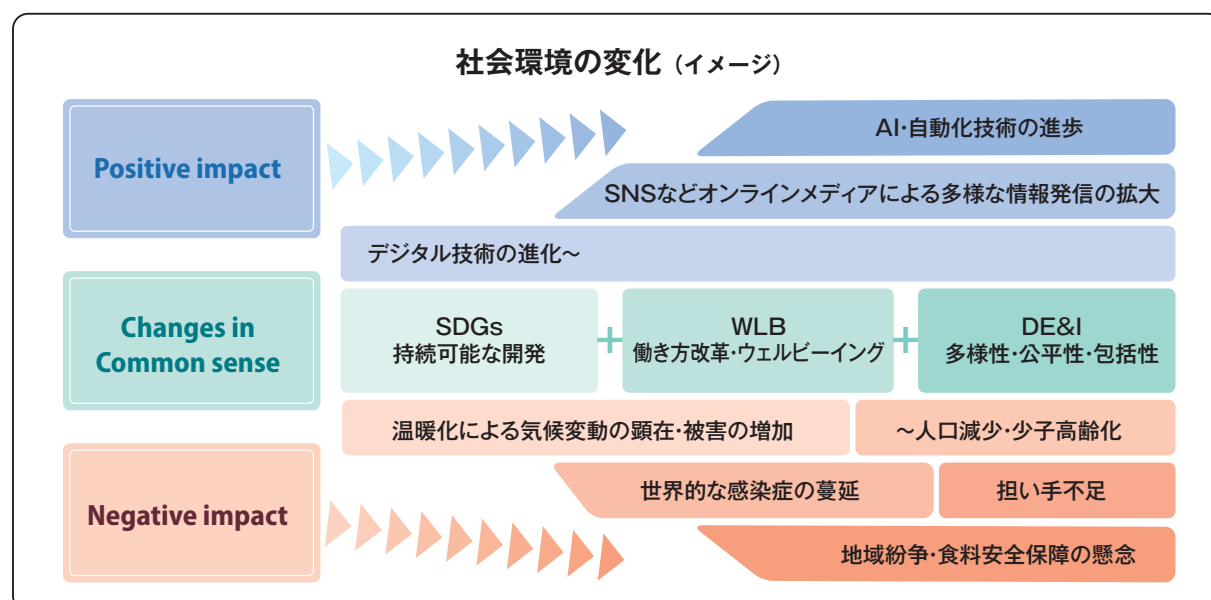


図-3 近年における社会環境の変化のイメージ

(2) 上下水道事業の変遷

社会環境の変化は、我が国の上下水道事業にも大きな影響を与え、課題解決のために様々な取組みが進められてきました。

◇上下水道事業の環境変化：

人口減少による使用料収入の減少／老朽化施設の増大／災害の激甚化など

◇上下水道分野の法改正：

水道法改正による広域連携・官民連携の推進／下水道法や水防法、特定都市河川浸水被害対策法等の改正／水道整備・管理行政の国土交通省及び環境省への移管／関連法令としての改正品確法・国土強靱化基本法など

◇上下水道の主な施策・計画：

アセットマネジメントやストックマネジメントによる施設の長寿命化・更新平準化／施設の統廃合や

共同化・広域化に関する検討／省エネ・再エネ計画／危機管理・耐震・耐水化計画／官民連携／施設の強靱化／GX、資源の有効利用など

(3) 水コン協のこれまでの取組み

水コン協（公益社団法人 全国上下水道コンサルタント協会）では、2015年～2025年のビジョンとして「これからの上下水道サービスの担い手としての挑戦」というコンセプトを定め、以下の取組みを進めてきました。

- ◇ 会員の基盤強化・協働・交流促進
- ◇ 多様な協働に向けた取組み
- ◇ 公益社団法人への移行
- ◇ 社会貢献活動（災害時支援）

(4) 水コンサルタントの成長と変化

◇ 業績・職員数推移

- ・会員企業数は横ばいの中、平成25年以降全体としては売上高及び職員数は順調に増加しています。

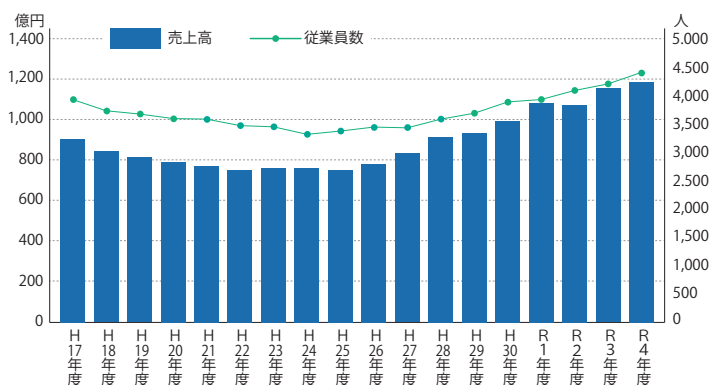


図-4 会員企業の上下水道部門の売上と従業員数

◇ 官民連携手法への対応

- ・水コンサルタントがアドバイザーとしての支援、プレーヤーとなつての支援、モニタリング主体としての支援等、あらゆる角度から事業体の官民連携を支援してきました。2019年度以降はアドバイザーを中心とした官民連携業務の受注件数が着実に積み上がってきています。プレーヤーとなつての支援では、事業グループ内における調査・計画、設計に加え、事業マネジメントに主体的・積極的に関わり、事業価値向上に貢献してきました。

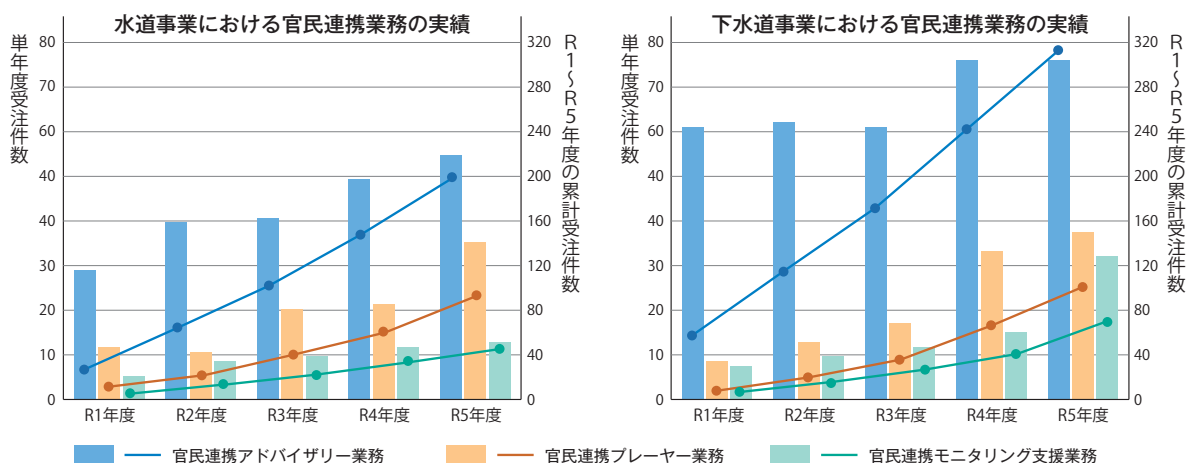


図-5 水コン協会員企業の官民連携業務の業務別・年度別受注実績

◇ 働き方改革・多様性への対応

- ・働き方改革（ワークイノベーション）により、「業務の効率化・生産性の向上」と「品質の向上」の両立を目指してきました。具体には、在宅勤務制度やフレックスタイム制度などの多様な働き方の導入、「働き方改革関連法」が順次施行されたことで育児休暇や介護休暇など、特別休暇の充実が図られてきました。さらにフリーアドレス化、リフレッシュスペースの設置、ペーパーレス会議及びWeb会議システム等の働く環境の改善が図られてきました。

こうした取組みにより、私たち水コンサルタントは、「これからの上下水道サービスの担い手としての挑戦」のステージを確実に歩んできました。

3. 未来へ ～地域社会を支える水インフラマネジメントの実践～

(1) 10年後の社会と期待

地域社会における水インフラへの期待として「安全・安心」、「水環境・水循環」、「地方創生」などが挙げられます。また、水コンサルタントへは「実践する専門技術集団」、「地域社会の持続・発展を支える担い手」としての役割が期待されています。さらに、前ビジョンを振り返る中で、水インフラとして上下水道一体で事業の推進・運営をしていくためには水コン協のプレゼンスが必須であることを再確認しました。

そして次の10年は、上下水道を主体としつつも関連するインフラと連携したマネジメントが求められる時代と捉えました。そこで本ビジョンでは「上下水道サービスへの挑戦」から「水インフラマネジメントの実践」へとステージを進めることを宣言します。

(2) 地域社会の持続を支える水インフラマネジメントの実践

私たち水コンサルタントが目指す「地域社会の持続を支える水インフラマネジメント」とは、上下水道インフラを中心とし、他の社会インフラと連携・調整を図りながら、水がもたらす恵沢を将来にわたり享受できるよう健全な水循環・良好な水環境を維持するためのマネジメントと捉えています。こうしたマネジメントを通じて、地域社会の持続に貢献していきます。



©もりおゆう

図 - 6 地域社会の持続を支える水インフラマネジメントのイメージ

(3) 水コンサルタントの使命

私たち水コンサルタントは、水に関する専門技術者集団として以下の使命を自覚し、取り組んでいきます。

①技術の継承

- ・ 事業体の専門職員が減少する中で上下水道システムの改築更新をはじめ、災害復旧対応も含めて継続的に地域に関わる“上下水道システムの専門家”として不可欠な存在となります。そのためにも上下水道システムの調査・計画・設計といったコア技術を継承し、確固たる専門技術者集団であり続けます。

②多様な官民協働の実践

- ・ウォーターPPPなど今後拡大する多様な官民連携手法における事業可能性調査（FS）やモニタリング、事業グループ内における調査・設計・統括管理等、上下水道を中心とした水インフラの事業運営の中心的役割を果たしていきます。また担い手不足や生産性向上の観点から、様々な場面で“地域の水コンサルタントの強み”を活かした連携をはじめ、産官学の連携により持続可能な地域社会の発展に寄与していきます。

③技術開発の推進

- ・複雑化、多様化する水インフラの課題を解決するため、柔軟な発想に立ち、複合的な技術開発を進め、技術の習得、開発、活用に積極的に取り組んでいきます。特にAIを含むデジタル社会の急速な発展は、業務のやり方や効率化に大きく寄与すると考えます。

(4) 水コン協の役割（水コンサルタントを支え、上下水道事業の持続に貢献する）

水コン協は上下水道事業の所管が国土交通省に一元化されたことを踏まえつつ、水コンサルタント会員企業の活動を支援し、水コンサルタント業界の発展に貢献していきます。また公益社団法人として、健全な水循環と良好な水環境の形成につながる活動を展開し、地域社会の持続・発展に寄与していきます。以下に5つの主要な活動を掲げます。

①水コンサルタント業界発展に向けた要望・PR活動等の実践

- ・関連団体等との協議を通じて、上下水道事業の発展と水コンサルタントの地位向上
- ・社会貢献活動を通じた市民向けPRの実施
- ・各種委員会活動を通じた会員企業に向けた情報発信・共有

②人材確保と経営基盤強化支援

- ・水コンサルタントが社会的に重要な役割を担い、今後も社会的地位を確立し成長し続ける魅力ある業界であることを継続的に発信
- ・会員企業の経営基盤強化や、働き方改革を含めた職場環境の改善のための規範提示

③災害支援

- ・災害時支援体制整備や災害復旧支援等の公益活動への積極的な取り組み
- ・災害支援協定（業界団体含む）の締結と円滑な運用に向けた支援者育成の推進や、委託業務の実態調査と課題の整理・対応
- ・上下水道一体の災害対応を進めるための検討

④技術力・品質・倫理向上の支援

- ・水コンサルタントの信頼性や社会的責任を一層高めていくための、技術講習会や技術情報発信、研究開発等の推進
- ・倫理規範の策定やコンプライアンス教育セミナー等の開催

⑤会員企業の連携強化、異業種連携支援

- ・水コンサルタントが、水インフラマネジメントに関連する業界全体の発展や官民連携の推進をリードしていくための支援を実施
- ・“地域に根ざしたコンサル（地域コンサル）”と“全国展開のコンサル（全国コンサル）”が連携するためのプラットフォーム機能について検討



Association Of Water And Sewage Works Consultants Japan

公益社団法人 **全国上下水道コンサルタント協会**

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里五丁目26番8号 スズヨシビル7階

TEL:03(6806)5751 FAX:03(6806)5753

豊かな地球 水のある暮らし —— 私たちの原点です



<https://www.suikon.or.jp/>